

新年のごあいさつ



大府市長
岡村 秀人

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかな新春を迎えられたことお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策に尽力した1年でございました。本市では、新型コロナウイルスの迅速かつ正確な接種体制の確立のため対策チームを立ち上げるとともに、市内医療機関、国立長寿医療研究センター、藤田医科大学病院、市内の事業所などの連携により、希望する方へのワクチン接種を円滑に進め、昨年12月には対象者の84パーセントを超える方が2回目のワクチン接種を終了しております。加えて、感染症対策の一つとして、至学館大学との連携により、高齢者施設の職員などを対象にしたPCR検査事業を行いました。本年におきましても、市民の皆さまの生命と生活を守るため、3回目のワクチン接種を確実に進めるとともに、スピード感を持って感染症対策や経済対策を実施してまいります。

さて、近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象による災害が増加しており、人々の生命や暮らしを守るため、地球温暖化対策は不可欠となっ

ております。本市では他自治体に先駆けて昨年1月にゼロカーボンシティを表明し、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする第3次大府市環境基本計画において、2050年度をめぐって温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げております。省エネルギー・省資源の推進、再生可能エネルギーの利用促進、ごみ減量化や脱プラスチックの推進、環境に配慮した消費行動・事業活動の促進、水と緑の保全などの取り組みを実施し、「循環型社会づくり」、「脱炭素社会づくり」および「自然共生社会づくり」による「ゼロカーボンシティ」の実現を目指してまいります。

いまだに終息の見えないコロナ禍で、先行きが不透明な状況が続いておりますが、この困難から学び、新たな価値観に挑戦するチャンスであるとも捉えております。ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた新たな市政運営を行うとともに、持続可能なまちづくりの実現に全力を尽くしてまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。本年が皆さまにとって希望に満ちた年になりますことを祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



大府市議会議長
早川 高光

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい令和4年の新春を健やかに迎えたいと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの変異株がまん延し、緊急事態宣言が出されるなど感染症の影響が甚大であった一方で、ワクチン接種が開始された年でもありました。本市は大府市医師団を始め、近隣の医療機関等と連携を強め、スピード感を持ってワクチンの接種体制を整え、対処に当たってまいりました。

マスクの着用、3密を避けるなどの新しい生活様式を取り入れ、はや2年となりました。市議会といたしましても、議場内の3密回避やこまめな手指消毒など感染防止対策を講じてきており、引き続き、必要な対策を取りながら、円滑な議会運営に万全を期してまいります。

こうした中で、市議会の新しい取り組みとして、オンラインでの行政視察や議員研修会を実施しました。対面による感染のリスクを減らしつつ、先進事例を学ぶことができるため、議員の資質向上を図る有効な手段の一つであると感じてお

ります。今後も、市民の皆さまの生命、身体および財産を守るため、議会としての役割を果たしていきたいと思っております。

また、昨年の夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本市ゆかりのアスリートを始め、多くの選手が活躍し、連日感動と勇気を与えてくれました。今後のさらなる活躍を期待するとともに、市内には、バスケットコートや新しく大府市民球場が整備されるなど、多くのスポーツに親しめる環境がありますので、これからも、より広いフィールドへと羽ばたくアスリートが輩出されることを楽しみにしております。

私たち市議会といたしましても、時代の潮流を捉え、市民の皆さまの期待に応える行政の推進と、全ての市民の皆さまにとっていつまでも住み続けたい自慢できるまち「健康都市おおぶ」のさらなる実現に向け、議員一同、尽力していく決意を新たに致しております。

結びに当たりまして、本年が皆さまにとって、実りある、幸せの多い年となりますよう心からご祈念申し上げます、議会を代表しての年頭のごあいさついたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和四年 元旦